

平成24年度 地域づくり人 育成講座

主催：総務省、市町村職員中央研修所

日程：平成25年3月11日(月)～13日(水)(2泊3日)

会場：市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉県千葉市
対象：市区町村職員及び市区町村等行政機関が推薦する地域づくりに取り組むNPO関係者等で、全日程を受講できる者
(途中退寮や一時帰庁はできませんので、ご注意ください。)
定員：60人(定員を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。)
宿泊：研修所宿泊棟(宿泊型研修)(外泊はできません。)
経費：8,550円(左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。)
申込期限：平成25年1月15日(火)まで
申込方法：受講申込書により、FAXまたは郵送でお申し込みください。

(申込様式はホームページよりダウンロード可：<http://www.jamp.gr.jp/>)

※経費納入方法等につきましては、別途受講決定通知書によりお知らせいたします。

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

研修受講にあたって、事前アンケートに取り組んでいただきます。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

開催のご案内

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに熱い志を持つ皆様のご参加をお待ちしております！

地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

【研修内容について】

総務省 地域自立応援課 人材力活性化・連携交流室
TEL.03-5253-5394

問い合わせ先

【申し込み先】 ※申し込みは、受講申込書のFAXまたは郵送のみとなります。
市町村職員中央研修所 研修部

〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番地

[ホームページ] <http://www.jamp.gr.jp/>

TEL.043-276-3126 FAX.043-276-8484 (FAXによる申し込みはこちら)

平成25年 3月11日(月)

- 11:00- 受付
- 11:30- 昼食
- 12:45- 開講・オリエンテーション

13:00-13:30 【講義1】

「地域の人材力」

総務省 地域力創造審議官 武居丈二

「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待について講義いただきます。

13:30-14:30

「地域をつくり人をつくる！

-地域活性化における人材力の活性化について」

慶應義塾大学総合政策部 准教授 飯盛 義徳 氏

総務省人材力活性化研究会座長。「アントレプレナー育成スクールNPO法人鳳雛塾」を設立、経営し、社会起業家としても活動。総務省が策定した「人材力活性化プログラム」の意義、地域を担うリーダー像のあり方、行政との協働の仕方等について講義し、本研修の狙いについてお話しいたします。

14:45-15:45 【講義2】

「全国で取り組む“観光・まちづくり教育”」

玉川大学教職員大学院 准教授 谷 和樹 氏

小学校の教諭として22年間勤務。模擬授業を中心に、教師の授業技量を高めようとする「TOSS授業技量検定」の代表を務める。「次世代を担う子供たちが自分の地域を誇りに思うには?」「興味の引き出し方」「話題提供の仕方」「自信の持たせ方」等は世代を問わず地域づくり人の育成を行う上で大事な要素であり、そんな問いかけを元にその手法について実践を交えながら講義いただきます。

16:00-17:00 【講義3】

「次世代人材育成とイノベーション創出のエコシステムを地域に生み出すために」

NPO法人ETIC. 代表理事 宮城 治男 氏

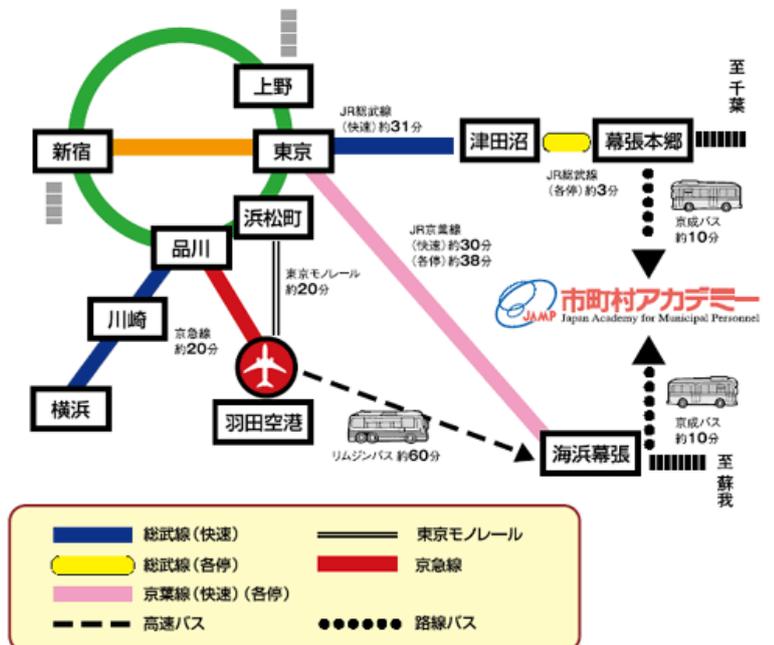
大学在学中に、学生起業家の全国ネットワーク「ETIC.学生アントレプレナー連絡会議」を創設。以来、若い世代が自ら社会に働きかけ、仕事を生み出していく起業家型リーダーの育成に取り組み、これまで300名を超える起業家を輩出。震災復興支援にも注力し、30のプロジェクトにリーダーを送り込み、コミュニティ再生、産業復興等の支援に取り組む。次世代を担う起業家型リーダーを輩出するため数々の事業を手掛けてきた講師から、地域で必要とされる人材の育成について講義いただきます。

課外 【グループ・トーク】

※ 参加者間で、本日の研修の振り返り、全体での共有を行います。

研修所までの交通のご案内

- 市町村アカデミーは、「幕張メッセ」がある千葉市の幕張新都心の隣接地にあります。
- 東京駅や羽田空港からおよそ1時間の位置です。
- JRで来所される方は、「幕張本郷駅(総武線)」または「海浜幕張駅(京葉線)」が最寄り駅です。
- 詳細は次のアクセス表を参照してください。
<http://www.jamp.gr.jp/access/index.html>
- 研修生の方は、必ず公共交通機関でお越しください。



平成25年 3月12日(火)

9:25-10:20 【講義4】

「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり」

柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏

柳谷(やねだん)は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀賞受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館長の御経験をもちに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。

10:30-11:25 【講義5】

「『都市郊外での絆づくり』、地域協働の設計図作成方法を学ぶ」

NPOフュージョン長池 理事長 富永 一夫 氏

「NPOフュージョン長池」の理事長。東京都多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンでしたが、ある日突然会社を辞めて地域に戻り、人と人のつながりが希薄なベッドタウンで少し昔の日本の町ならどこにでもあったような暖かい人間関係を取り戻そうと一念発起。2012年には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)を受賞。「都市郊外」の新興住宅地と既存の住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意しながら地域活動を展開すべきか、その要諦を講義頂きます。

11:35-12:30 【講義6】

「『能力を磨く』という人材育成の進め方」

株式会社紡 代表取締役 玉沖 仁美 氏

幼稚園の先生から株式会社リクルートに転職。中途採用事業部などを経て地域活性部の配属となり、日本各地のモノづくり・観光事業・人材育成事業等、地域コンサル事業に携わる。独立後は、地域産品開発をテーマとした人材育成事業、地域資源を活かした地域産品や観光事業の開発を手掛け、現在も日本各地を出張で飛び回る日々を送る。地域にとって理想的な人材を育成するにはどうすればよいかという観点から講義いただきます。

13:30-17:30 【ワークショップ】

※ワールドカフェ方式のワークショップを実施します。

慶應義塾大学総合政策部 准教授 飯盛 義徳 氏

株式会社紡 代表取締役 玉沖 仁美 氏

柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏

愛媛県中予地方局総務企画部地域政策課 専門員 前神 有里 氏

NPOフュージョン長池 理事長 富永 一夫 氏

課外 【グループ・トーク】※参加者間で、本日の研修の振り返り、全体での共有を行います。
【講師との直接対話】※参加者からの質問に講師が応える形式で直接対話を行います。

平成25年 3月13日(水)

9:25-10:35 【講義7】

「地域力創造は、緑の分権改革と公務員参加型地域おこしから」

総務省地域力創造・緑の分権改革アドバイザー 椎川 忍 氏

前総務省自治財政局長、元地域力創造審議官(初代)。自治省(現・総務省)入省後、自治省国際室長、総務省財政課長、内閣府・総務省の大臣官房審議官、自治大学校長などを務める。県勤務は、埼玉、香川、宮崎(財政課長)、島根(総務部長)。地域に飛び出す公務員ネットワーク代表、NPO法人大山中海観光推進機構理事、国際日本文化研究センター共同研究員など。地域づくりの第一人者が、36年半にわたる公務員生活から得た経験をもちに講義いただきます。

10:50-12:00 【パネルディスカッション】

「地域での実践。～地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むには～」

進行) 総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室 室長 大槻 大輔
パネラー) 赤羽消防団 副団長 小澤 浩子 氏 愛媛県中予地方局総務企画部地域政策課 専門員 前神 有里 氏

消防団副団長である小澤浩子氏からは、地震での活動経験や事例を通じて人材確保や育成の際に有効なアイデアや普及の心がけ等をお伺いし、愛媛県職員である前神有里氏からは、地域に飛び出し思いを同じくする仲間を増やすことでネットワークを広げ、地域に対するサポートの幅が広がるという経験談を紹介していただき、総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室長のコーディネートのもと、受講者との対話も交えながらディスカッションを行います。

13:00-14:10 【成果発表と振り返り】

※3日間の研修での体験を踏まえて、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」をまとめ、行動宣言を行います。